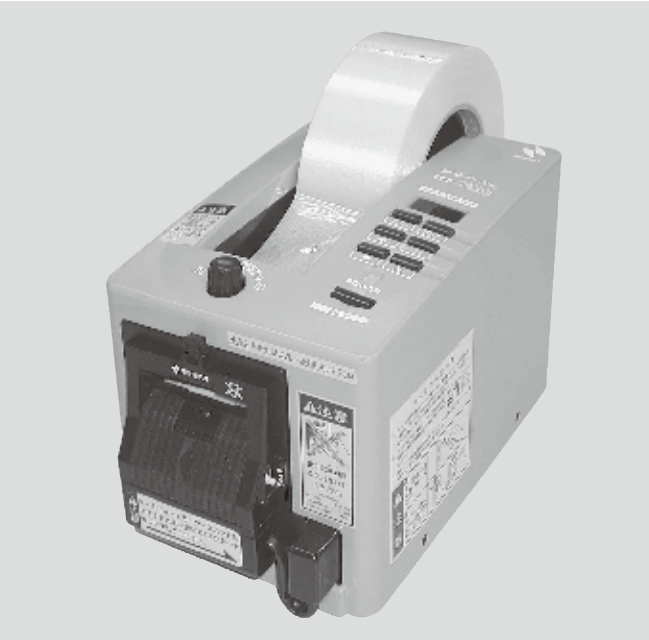
NICHIBAN

オートテーパー™

TCE-700
TCE-700
シーケンスタイプ

電子テープカッター（セーフティーガード機構付）

取扱説明書



ニチバン株式会社

はじめに

●このたびは、ニチバン オートテーパー™ TCE-700
TCE-700 シーケンスタイプをお買上げいただき
ありがとうございます。

●本取扱説明書は よくお読みのうえ、正しくお使い
ください。

保存し、必要なときにお読みください。

TCE-700 使い方は
こちら
▼

エラー表示解除は
こちら
▼

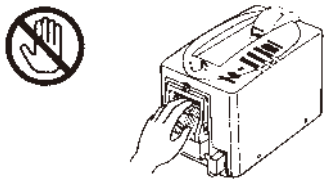
もくじ

■安全上のご注意…… 3
■各部のなまえとはたらき…… 5
■使いかた
●共通事項
お使いになる前に…… 7
テープのセット…… 7
プレッシャーつまみの調整…… 8
テープ長さの設定…… 9
テープ長さの変更…… 9
手動送り（キー操作）で使用する…… 9
自動送り（オートフィード）で使用する…… 10
オートフィードカッターユニットのしくみ…… 10
エラー表示の解除方法…… 11
セーフティーガード機構について…… 12
●シーケンスタイプ
3種類のテープ長さの登録…… 13
登録した長さの変更…… 15
メモリーを自動切替えで使用する…… 15
メモリーを手動切替えで使用する…… 16
●共通事項
テープの交換方法…… 17
オートフィードカッターユニットの交換方法…… 17
■こんなとき
こんなとき…… 18
テープが詰まったときの取り出しかた…… 22
■展開図…… 23-24
■部品表…… 25
■別売部品
別売部品・消耗品…… 35
■別売部品の交換方法
カッター刃の交換…… 36
テープ押さえガイドの使用…… 37
テープアタッチメントの使用…… 37
はくりローラーユニットの交換…… 38
ヒューズの交換…… 38
リールスタンドの使用…… 39-40
■仕様…… 41
■お手入れの方法…… 42
■保守・点検・サービス…… 42
保証書…… 裏表紙

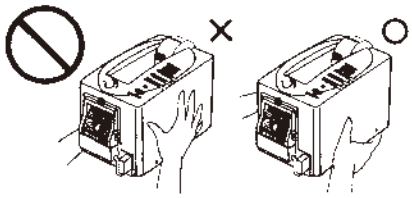
安全上のご注意（おまもりいただくこと）

⚠ 警告:場合により、ケガをするおそれがあります。必ずお守りください。

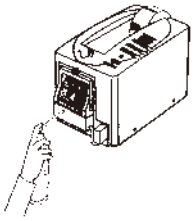
⚠ 警　告



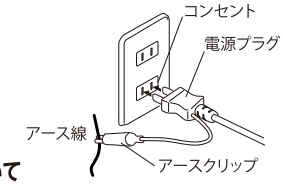
テープの出口に指をいれない。
カッター刃に触れてケガをすることがあります。



本体を移動する際は、必ず本体底面に手を添えて持ち運ぶ事。
落とした場合、ケガをすることがあります。



可燃性ガススプレーは、使用しないでください。
爆発するおそれがあります。

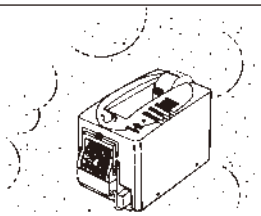


アース(接地)について

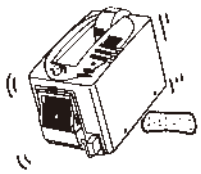
コンセントに電源プラグを差し込むときは、アース(接地)をしてください。
故障や漏電のときに、感電事故を起こすおそれがあります。アースクリップは、以下のような場所には接続しないでください。
ガス管：爆発や引火の原因になります。避雷針・電話線：落雷のときに危険です。
水道管：感電の原因になります。途中がプラスチックになっている場合は、アースになりません。

⚠ 警告:場合により、傷害や損害を被ることがあります。必ずお守りください。

⚠ 警　告



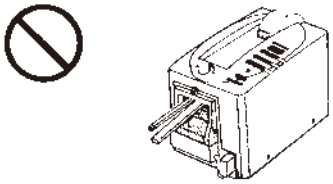
水・湿気・ホコリの多い場所で使用しないでください。
感電・故障の原因になります。



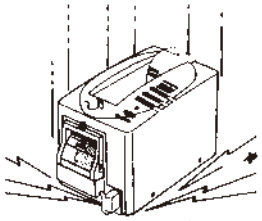
ぐらついたり、傾いている不安定な場所で使用しないでください。
落下するなどして、ケガの原因になります。

⚠ 警告:場合により、傷害や損害を被ることがあります。必ずお守りください。

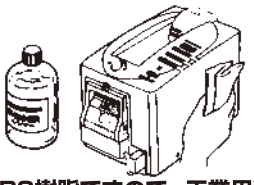
⚠ 警　告



テープの出口に棒などを差し込まないでください。
カッターが故障することがあります。



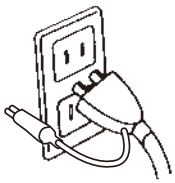
強い衝撃をあたえないでください。
故障・破損の原因になります。



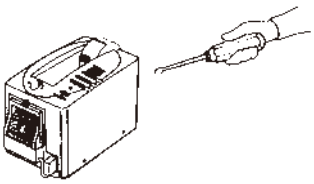
本体は、ABS樹脂ですので、工業用油やシンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
破損することがあります。

電源プラグ・コード・コンセントの、傷み・ゆるみ・ホコリ詰まり・ねじれなどがないようにご注意ください。
火災・感電・故障の原因になります。

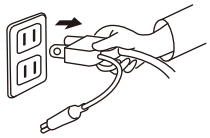
引火性のものの近くでは使用しないでください。
発火することがあります。



交流100V以外の電源では使用しないでください。
火災・感電・ケガの原因になります。



ご自分で改造はしないでください。
故障・発火など、異常の原因になります。



部品交換のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押すと、作動して危険です。

各部のなまえとはたらき

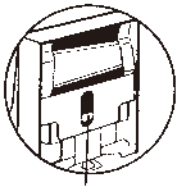
本体の説明

トリプルリール
操作部
コンセント
電源プラグ
プレッシャーつまみ
アース線
オートフィード
カッターユニット
センサースイッチ
アースクリップ
コネクタ
セーフティーガード
ヒューズ
送りローラー
電源スイッチ
はくりローラー
オートフィードカッター
ユニット取り外し図
オートフィードカッター
ユニット裏側

【付属品】

取扱説明書

シリコンオイル5cc　1本



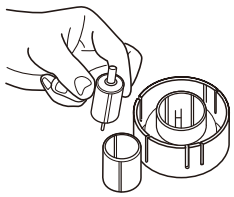
カッター刃上下動用穴

中巻リール・小巻リールの取り出し方

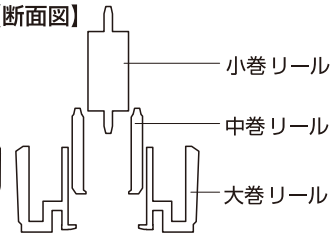
軸を平らな面に押し付けると、リールが外れます。

※軸を平らな面に押し付ける際に大巻リールの方向が正しい方向であるか確認してください。

小巻リール外径	φ25.4
中巻リール外径	φ35
大巻リール外径	φ76.3

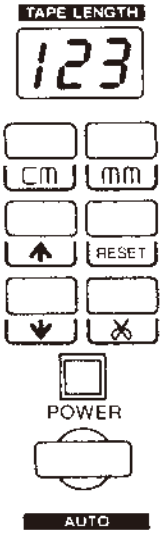


【断面図】

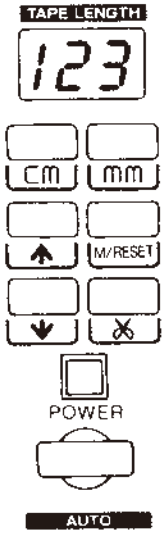


操作部の説明

TCE-700



TCE-700
シーケンスタイプ



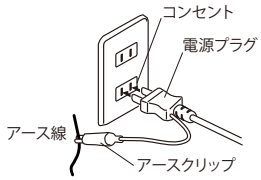
●電源スイッチ OFF ON ONの側を押すと電源が入ります。	**●送りキー** キーを押している間、テープが出ます。
●表示部 TAPE LENGTH 123 最大3桁（999mm）までテープの長さを表示します。	**●カットキー** キーを押すと、テープをカットします。
●サイズキー CM MM mmキーを押すと、mmの単位1桁（0～9mm）を設定できます。 cmキーを押すと、cm単位2桁（30mm～990mm）を設定できます。 mmキーを押しながらcmキーを押すと始めの30mmの表示に戻ります。	**●オートキー** AUTO キーを押すと、表示中の設定長さにテープを1回自動送りし、自動カットします。
●リバースキー 送りローラーが逆転します。テープ交換時などにご使用ください。	**●リセットキー** RESET キーを2回押すと、Err --- を解除します。 **●メモリー/リセットキー** M/RESET ● Err --- を解除します。（2回押） ● 3種類の長さを登録します。
●電源ランプ POWER 電源が入るとランプが付きます。	**●プレッシャー（圧力）つまみ** PRESSURE テープの押さえ圧力をテープに合わせて調整できます。 ※テープによっては効果が発揮できない場合があります。

使いかた

お使いになる前に

1.電源スイッチとオートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。

⚠ 電源「ON」のままですと、誤ってキーを押したとき作動して危険です。



2.オートフィードカッターのコネクタを本体に差し込んでください。

3.電源プラグをコンセントに差し込んでください。

コンセントに電源プラグを差し込むときは、アース（接地）をしてください。

> ⚠ アース（接地）について
> コンセントに電源プラグを差し込むときは、
> アース（接地）をしてください。
> 故障や漏電のときに、感電事故を起こすおそれがあります。
>
> **※アースクリップは、以下のような場所には接続しないでください。**
> **ガス管：爆発や引火の原因になります。 避雷針・電話線：落雷のときに危険です。 水道管：感電の原因になります。**
> **途中がプラスチックになっている場合は、アースになりません。**

4.電源スイッチを「ON」にします。
始めの表示「30」が表示されます。
登録できるテープの最低の長さ「30mm」の意味です。

cm　mm

テープのセット

1.リール（軸）を、後方へ引き抜き、はずします。

2.テープをリールにはめ込み、テープをはがした際、粘着面が下側になるよう本体にセットします。
※テープがリールの中央に位置するようにセットしてください。曲がった状態でセットするとテープがつまる場合があります。

●テープ内径が合わない場合は19・35ページ参照ください。
●テープ外径が合わない場合は別売部品「リールスタンド」で、テープをセットしてください。35・39ページ参照。

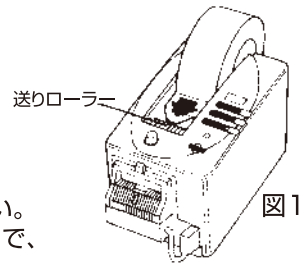


図1

3.テープの先端を、送りローラー（銀色のローラー）の中央に貼りつけます。（図1）

4.貼りつけたテープの上を指で軽く押さえながら送りキー↓を少しずつ、数回に分けて押しテープを送ります。（図2）

※送りキー↓を押している間だけテープが送られます。

●テープが出てこないときは、18ページを参照してください。

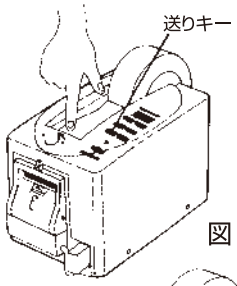


図2

5.オートフィードカッターユニットのテープ出口から、テープを3～4cm程度出してください。

6.カットキー✂を押してください。
テープがカットされますので、カットされたテープを取り除いてください。（図3）

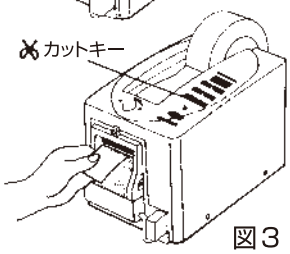


図3

プレッシャーつまみの調整

プレッシャーつまみは、テープが正しく送り出されるように、テープを押さえているローラーの圧力を調整するための機能です。

テープを押える圧力
弱い

テープを押える圧力
強い

1.テープの材質・性質にあわせて、テープを押える圧力を調整してください。

テープの種類	プレッシャーつまみの調整目安
セロテープ® クラフト粘着テープ 布粘着テープ	
片面はくり紙付き両面テープ （厚さ0.5mm以下） フィラメントテープ クレープテープ	

2.送りキー⬇を押し、テープを出して調子を確認してください。

3.次のような場合、プレッシャーつまみの調整が、テープの材質・性質に合っていないことがあります。状況に応じて調整してください。

状　　況	押さえ圧力	フレッシャーつまみの調整
テープが出てこないで詰まる	弱すぎる	（H）の方向へ強める
	強すぎる	（S）の方向へ弱める
テープがカールして出る	弱すぎる	（H）の方向へ強める
テープが垂れ下がって出る	強すぎる	（S）の方向へ弱める
テープに強い筋目が刻まれる	強すぎる	（S）の方向へ弱める

※テープを正しく送り出すために、ある程度の押さえ圧力が必要です。テープの種類により、プレッシャーつまみで調整しても筋目が出る場合があります。

使いかた

テープ長さの設定

一定の長さで切るために、寸法を設定します。

1.サイズキー CM MM を押して、必要な長さに設定してください。
■ MMを押すと、0mm～9mmまでの、下1桁のmmの数字だけ変更できます。
■ CMを押すと、3cm～99cmまでの、上2桁のcmの数字だけ変更できます。
■サイズキーを、押しつづけると、数字を早送りできます。

※設定可能範囲は30mm～999mmまでです。
始めの30mm以下に設定したい場合は15mmからの特注機をご用意出来ますので販売店にご注文ください。設定範囲15mm～999mm。
※設定した数字は、バックアップ機能により電源を切っても消えません。
※MMキーを押しながらCMキーを押すと始めの30mmの表示に戻ります。
30mmの表示に戻りましたらMMキーから先に指をはなしてください。
（CMキーを先にはなすとMMキーの数字が変更されます。）

【例】457mm（45.7cm）にセットする。

①MMキーを押して、下1桁を「7」に変更します。

②CMキーを押し続けて早送りし、上2桁を「45」に変更します。

表示

テープ長さの設定リセット

1.オートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。

2.MMキーを押しながらCMキーを押して、始めの表示 30 に戻してください。

手動送り（キー操作）で使用する

1.オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをOFFにします。

2.オートキーを押してください。

3.設定した長さのテープが1枚送り出されて、カットされます。

※設定した長さ以外に、いろいろな長さで出す場合は、送りキー↓と、カットキー✂を利用してください。
※テープ長さ（設定数字）を長くした場合、送り出されたテープが、本機設置台に付着しますので注意してください。

自動送り（オートフィード）で使用する

センサーを利用して、自動送りができます。

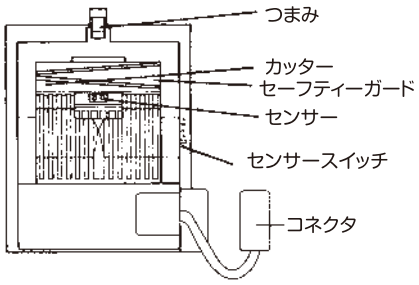
1. オートフィードカッターユニットの
   センサースイッチをONにします。

2. 設定した長さのテープが1枚送り出されて
   カットされます。

3. 出口のテープを取り除いてください。

4. 次のテープが1枚出てきてカットされます。

オートフィードカッターユニットのしくみ



■カッター（刃）と、センサーが一緒になったユニット部品です。
■センサーは、テープ出口にテープがあるか、無いかを検知する機能があります。
（スイッチONの時）

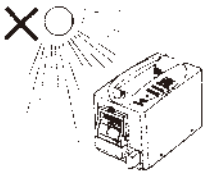
■テープが無いと検知したとき、本体に、次のテープの送り出しとカットを指令します。
※セーフティーガード機構☞12 ページ

⚠ 注意　透明度の高いテープではこの機能が使えない場合があります。

※光源の種類によって異なりますが、明るい場所でご使用になりますと、センサーが誤作動することがあります。

センサーの機能を妨げる明るさの目安

●明るい窓際に、センサーを向けている場合
●白熱灯　　800 ルクス以上の場合（60W灯下　45cm位 ）
●蛍光灯　3000 ルクス以上の場合（40W灯下　30cm位 ）



※オートフィードカッターユニットをお取り扱いの際は、コネクタ部のピンが折れたり、曲がったりしないよう十分注意して下さい。

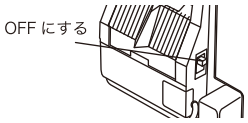
使いかた

エラー表示「Err」「---」の解除方法

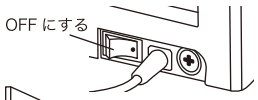
■ご使用中にテープが詰まったり、異物を挟み込んだりした場合に発生したエラー表示の解除方法の説明です。

① 「Err」「---」表示部が点滅していることを確認してください。

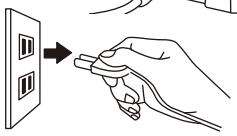
② オートフィードカッターユニットのセンサースイッチを「OFF」にしてください。



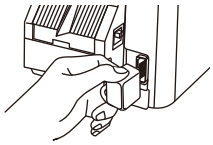
③ 本体メイン電源を「OFF」にする。



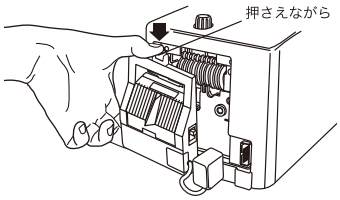
④ コンセントからプラグを抜く。



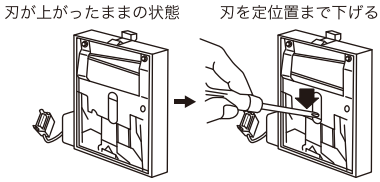
⑤ コネクタを抜く。



⑥ オートフィードカッターユニットを外し詰まったテープを取り除いてください。ドライバー等の工具でシャッター、カッターを上下させシャッター、カッターを定位置まで戻し、オートフィードカッターを本体にセットする。



⑦ オートフィードカッターユニットの下部を本体に合わせてから上部を押し込んでください。
※オートフィードカッターを装着する場合は、コードを引っ張らないでください。コードが断線する恐れがあります。
⑤→　④→　③→　②→ の手順で元に戻す。



⑧ リセットキーを1回押す。
→表示部に設定寸法値が点滅表示されます。※右図参照

⑨ リセットキーをもう1回押す。
→正常に作動する状態に復旧します。

※図は設定値を「30」にしていた場合

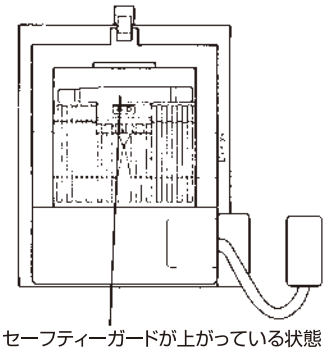
※上記の解除方法を行っても「Err」「---」が解除されない場合は20・21ページを参照してください。

セーフティーガード機構について

■セーフティーガードとは、カッター作動時にオートフィードカッター内にテープ以外の異物を検知した場合、カッターの作動を停止させる装置です。

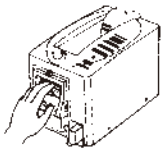
※テープ出口にテープ以外の物が挟まるとセーフティーガードがカッターの作動を停止させ表示部にErrの表示が点滅します。

※セーフティーガードが上がっている状態でオートフィードカッターを本体にセットし、AUTOキー、送りキーを押すか又は、センサースイッチをONにすると表示部に ---- が点滅します。



セーフティーガードが上がっている状態

警　告



テープの出口に指をいれない
カッター刃に触れてケガをすることがあります。

キーを押しても反応がない場合の対処方法（電気ノイズによる異常等の解除）

電気的ノイズ等により「Err」が発生したり、送り出しキーが反応しなくなったりする場合一度電源を「OFF」にし、リセットキーを押しながら、再び電源を「ON」にしてください。
※それでも症状が変わらない場合は、販売店へご相談ください。

使いかた（TCE 700 シーケンスタイプ）

■このページはTCE-700シーケンスタイプ独自の使い方についての説明です。

3種類の長さの登録

3種類の長さで切るために、寸法を設定します。

●長さを登録するメモリーは、次のような順序で表示されます。

	始めの表示	設定値
メモリー1	30	30～999mmに設定
メモリー2	999	30～998mmに設定（未使用のときは、999mmに設定します）
メモリー3	999	30～998mmに設定（未使用のときは、999mmに設定します）
切替番号	0	0または5に設定

切替番号 0：手動切替えモード
5：自動切替えモード

1.オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをOFFにしてください。長さを設定中にカッターが動くと危険です。

2.メモリー／リセットキー M/RESET を、表示が点滅を始めるまで押し続けてください。

M/RESET 30

※表示点滅中は、メモリー登録のモードになります。

3.サイズキー CM MM を押してメモリー1に登録する長さを設定してください。

（例）メモリー1
100mm

100
CM MM

●サイズキー CM MM の使いかたは、
9 ページ「テープ長さの設定」を参照してください。

4.メモリー／リセットキーM/RESETを押します。表示は、「999」になります。999は、次の「メモリー2」の始めの値です。

M/RESET 999

5.サイズキー CM MM を押して、メモリー2に登録する長さを設定してください。

（例）メモリー2
200mm

200
CM MM

■このページはTCE-700シーケンスタイプ独自の使い方についての説明です。

6.メモリー／リセットキーM/RESETを押します。表示は、「999」になります。999は、次の「メモリー3」の始めの値です。

M/RESET

7.サイズキーを押して、メモリー3に登録する長さを設定してください。

（例）メモリー3
300mm

8.メモリー／リセットキーM/RESETを押します。
切替番号「0」が表示されます。

M/RESET

9.自動切替モードで使用するときは、mmキーを押してください。切替番号が「5」になります。

M/RESET

10.メモリー／リセットキーM/RESETを、表示の点滅が止まるまで押し続けます。メモリー1が表示されて、点滅が、止まります。

11.オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをONにするか、オートキーを押して、テープを出してください。始めにメモリー1の長さのテープが出ます。その次にメモリー2の長さ、メモリー3の長さで順次繰り返します。

※一度メモリーをした後、長さを変更する時は、メモリーの始めの値「999」の表示ではなく以前にメモリーされた長さが表示されます。

使いかた（TCE 700 シーケンスタイプ）

■このページはTCE-700シーケンスタイプ独自の使い方についての説明です。

登録した長さの変更

● 全部やりなおすとき

本体の電源を一度、OFFにした後、メモリー／リセットキーM/RESETを押したまま電源をONにします。

● 一部変更するとき

（例）メモリー2を500mmに変更する

1. メモリー／リセットキーM/RESETを、表示が点滅を始めるまで押し続けてください。

M/RESET

2. メモリー／リセットキーM/RESETを、一回ずつ押して変更したいメモリーを表示させます。

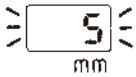
M/RESET

3. サイズキーで設定を変更します。

4. メモリー／リセットキーM/RESETを、表示の点滅が止まるまで押し続けます。メモリー1が表示されて、点滅が止まります。

メモリーを自動切替えで使用する

1. 13ページの「3種類の長さの登録」の方法を参照して長さを登録します。



2. 切替番号を「5」にセットしてください。

3. テープを一枚出すごとに、メモリー1～メモリー3に設定した長さで順次出てきます。

（例）メモリー1
100mm

↓

（例）メモリー2
200mm

↓

（例）メモリー2
300mm

使いかた（TCE 700 シーケンスタイプ）

■このページはTCE-700シーケンスタイプ独自の使い方についての説明です。

登録した長さの変更

● 全部やりなおすとき

本体の電源を一度、OFFにした後、メモリー／リセットキーM/RESETを押したまま電源をONにします。

● 一部変更するとき

（例）メモリー2を500mmに変更する

1. メモリー／リセットキーM/RESETを、表示が点滅を始めるまで押し続けてください。

M/RESET

2. メモリー／リセットキーM/RESETを、一回ずつ押して変更したいメモリーを表示させます。

M/RESET

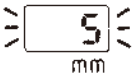
3. サイズキーで設定を変更します。

4. メモリー／リセットキーM/RESETを、表示の点滅が止まるまで押し続けます。メモリー1が表示されて、点滅が止まります。

メモリーを自動切替えで使用する

1. 13ページの「3種類の長さの登録」の方法を参照して長さを登録します。

2. 切替番号を「5」にセットしてください。



3. テープを一枚出すごとに、メモリー1～メモリー3に設定した長さで順次出てきます。

（例）メモリー1
100mm

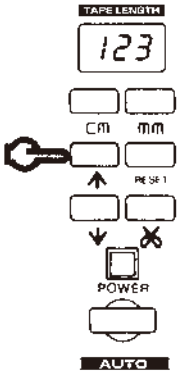
（例）メモリー2
200mm

（例）メモリー2
300mm

使いかた（TCE 700 シーケンスタイプ）

注意　部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

テープの交換方法



1. オートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。

2. テープを逆転させリバースキー↑を、少しずつ押してください。

3. テープを交換してください。

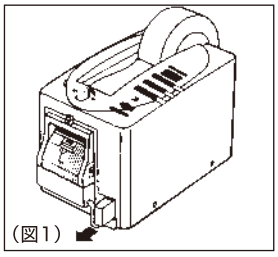
オートフィードカッターユニットの交換方法

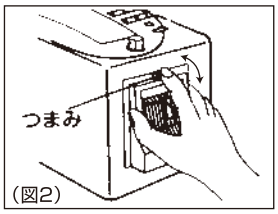
■取りはずし方法

1. センサースイッチを「OFF」にしてください。

2. コネクタカバーを持ちコネクタをまっすぐに引き抜きます。（図1）

3. オートフィードカッターユニットの上のつまみを押さえながら手前に引くと、はずれます。（図2）
※はずす際はコネクタコードを引っ張らないでください。コードが断線する場合があります。


（図1）



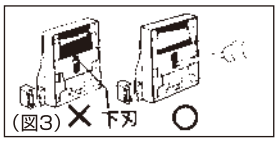
（図2）

■セット方法

1. センサースイッチを「OFF」にしてください。

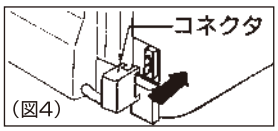
2. カッターの下刃が下にさがっていることを確認してください。上がっている場合は、カッター刃上下動用穴に、ドライバーなどで刃とシャッターを一番下までさげてください。
6ページのオートフィードカッターユニット裏側を参照してください。（図3）

3. オートフィードカッターユニットの下部を本体に合わせてから、上部を押し込んでください。
※オートフィードカッターを装着する際は、コードを引っ張らないでください。コードの断線につながります。



（図3）

4. コネクタを差し込んでください。
※コネクタピンが折れたり、曲がったりしないよう十分注意してください。又、コネクタ装着の際は、コネクタカバーをはずさないでください。



（図4）

こんなとき

●故障かな?と思った時は、修理をご依頼の前に、下記の点をお調べください。

注意 異常がある場合は、ご自分で修理をしないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症　状	要　因	処　置
テープが出てこない・詰まる	カッター(刃)が正しくセットされていますか? (替刃の交換をしましたか?)	オートフィードカッターユニットをはずして、正しくセットしなおしてください ☞17・36ページ参照
	オートフィードカッターユニットの中にテープが詰まっていませんか?	オートフィードカッターユニットをはずして、確認してください ●詰まったテープの取り出しかた ☞22ページ参照
	テープが、出口の上側に当たるとき(押さえる圧力が不足しています)	プレッシャー(圧力)つまみを(H)の方向へ強めてください または、はくりローラーが摩耗しているので交換してください
	テープが、出口の下側に当たるとき(押さえる圧力が強すぎます)	プレッシャー(圧力)つまみを(S)の方向へ弱めてください
	テープが、はくりローラーと一緒に巻き込んでしまうとき	プレッシャー(圧力)つまみを(S)の方向へ弱めてください
	テープの粘着剤が、シリコン系の時	そのテープは使用できません
	テープをセットしたまま長時間使用していないとき テープが貼りついていることがあります	オートフィードでご使用の場合ははじめに、送りキー↓で少しテープを送り出してからご使用ください
	テープ巻からテープをはがす時に、強い力が必要ではありませんか?	テープ巻からはがしにくいテープは、使用できない場合があります
テープが切れない	カッター(刃)に粘着剤がついていませんか?	除光液やアルコールなどで拭いて粘着剤を取り除いてください
	テープの切り口が不揃いですか? 但し、テープの特性によっては、発生する場合もあります	カッター(刃)が摩耗していますので交換してください ☞17・36ページ参照
	カッター(刃)を時々、交換していますか?	
	カッター(刃)が正しくセットされていますか? (替刃の交換をしましたか?)	オートフィードカッターユニットをはずして、正しくセットしなおしてください ☞17・36ページ参照
	オートフィードカッターユニット裏の、カッタースプリング(板)のネジがゆるんでいませんか?	

こんなとき

注意 異常がある場合は、ご自分で修理をしないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症　状	要　因	処　置
テープがカールする	テープを押さえる圧力が不足しています	プレッシャー（圧力）つまみを（H）の方向へ強めてください または、はくりローラーが摩耗しているので交換してください ☞38ページ参照
テープの長さが設定どおりに切れない	両面テープのとき （設定長さより長めになります）	別売部品「アタッチメント」で補正できます ☞37ページ参照
	紙テープのとき （設定長さより長めになります）	
	粘着力の弱いテープのとき （設定長さに対してバラツキます） ※保護フィルムテープなど	
	テープ幅が細いとき （テープ蛇行し斜めに切れます）	別売部品「テープ押さえガイド」で補正できます ☞37ページ参照
	伸び縮みするテープのとき （設定長さより短かめになります）	伸び縮みするテープや、粘着力の弱いテープは、一定の長さに送れないので、正確にカットすることはできません
自動送り（オートフィード）にならない（キー操作はできるとき）	本体の電源は入っていますか?	電源プラグ、電源スイッチを確認してください
	オートフィードカッターユニットのコネクタが差し込まれていますか?	コネクタを正しく差し込んでください
	オートフィードカッターユニットのスイッチが「ON」ですか?	センサースイッチを「ON」にしてください
	センサー部分が汚れていませんか?	綿棒や歯ブラシなどで汚れを取り除いてください
	すべて確認したのに作動しないとき	故障が考えられます オートフィードカッターユニットを交換してください
テープをリールにはめてもテープがガタつく	テープの内径は、製造メーカーにより異なるので、あわない場合があります	リールにテープを巻くなどして、リールの径を調整してください 特注リールをご希望の場合は、販売店にご相談ください
オートフィードカッターユニットが、はずれる	オートフィードカッターユニット裏のカッタースプリング（板）のネジがゆるんでいませんか?	はずして、確認してください ☞17・36ページ参照

注意 異常がある場合は、ご自分で修理をしないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症　状	要　因	処　置
自動送り（オートフィード）が止まらずに、テープが出続ける ↓ スイッチを、OFFにして止めてください	テープがセンサーの中央を通っていますか?	テープがセンサーの中央上を通るようにセットしてください 別売部品 「テープ押さえガイド」で、補正できます ☞37ページ参照
	照明器具などの、強い光源が近くにありませんか?	強い光源から離すか、センサーを光源の方へ向けないように設置してください ☞10ページ参照
	透明なテープのとき	透明度が高いと、センサーが検知できないことがあります
	黒いテープのとき	販売店にご相談ください
	上にカールするテープのとき	販売店にご相談ください
	テープの種類にかかわらず、止まらないとき	センサーの故障が考えられますので、オートフィードカッターユニットを交換してください
プレッシャーつまみが動かない	（H）か（S）のどちらかの方向にいっぱいまで回していませんか?	つまみを持ち上げるようにして、回してみてください
どのキーを押しても全く動かない何も表示しない	本体の電源が入っていますか?	電源プラグ、電源スイッチを確認してください
	ヒューズが切れていませんか?	ヒューズを交換してください ヒューズが切れた原因を調べて対処してください
	すべて確認したのに作動しないとき	**電磁波（ノイズ）によりフリーズしている可能性があります** ☞12ページ参照
Err と表示される	テープが詰まっていませんか?	テープを取り除いて、リセットキーを2度押してください
	作動させるとすぐErrになる	作動させた部品の故障です 修理依頼してください
	高温になる場所で使用していませんか?	制御基盤は熱に弱いので、高温のため異常を示すことがあります
	しばらく使用しているうちに、急にErrになったとき	制御基盤の故障です 制御基盤を交換修理する場合、他の修理より高額になります
	すべて確認したのに作動しないとき	何かの衝撃で本体カバーがずれている可能性があります 販売店にご相談ください

こんなとき

注意 異常がある場合は、ご自分で修理をしないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症　状	要　因	処　置
Err と表示される	オートフィードカッターにテープ以外の物を挟んでいませんか?	挟んでいる物を取り除きリセットキーを2度押してオートフィードカッターユニットのロックを解除してください ☞ 11ページ参照
	ご使用中にセーフティーガードが、上がった状態で作動しなくなった	
	コネクタの接触不良	コネクタをまっすぐ確実に差し込んでください
	コネクタのピンが曲がっている	修理依頼してください
	モーターの過負荷による作動不良です	電源を切り涼しいところでしばらく放置してください
--- と表示される	カットする度にセーフティーガードが上がってしまう	オートフィードカッターユニットを外し、カッターを一番下まで下げた後、本体に戻し、リセットキーを2回押して解除し、カットキーを押して下さい。
	セーフティーガードのシャッターが上がっている状態でオートフィードカッターユニットを本体にセットした	
まったく動かない又は異常表示	他電気製品が近くにありませんか?内蔵のコンピューターに電磁波などのノイズが加わった事が考えられます	リセットキーを2度押してください ※それでも作動しない場合は修理依頼してください

ご使用上、「Err」と表示され解除できない場合 オートフィード機能使用時、停電などで突然電源が切れた場合など

電源が切れた後、電源を入れセンサー上のテープを取り、テープ送り動作後、カチカチカチと6回音がしカットせずに停止し、表示の「Err」が点滅した場合

1. センサー上にテープがあるなしにかかわらずテープをリバースさせ、送りローラーからテープを外してください。（その後、「リセットキー」を2回押しても「Err」は解除されず、送り動作し、カチカチカチと6回音、「Err」表示の繰り返しになります。）
2. センサースイッチはONの状態で、オートフィードカッターユニットを外してください。
3. オートフィードカッターユニットのカッター刃上下動用の穴にドライバーなどで刃とシャッターを一番下まで下げてください。（取扱説明書の17頁『**オートフィードカッターユニットの交換方法**』の「**セット方法**」2.を参照願います。）
4. 「リセットキー」を2回押してください。送りローラーが回転し、同時にソレノイドが1回動作しシャッターが上がった位置になります。その直後、作動軸が上下に一往復します。この時の表示は「Err」が「---」に変わり点滅します。
5. カッター刃上下動用の穴にドライバーなどで刃とシャッターを一度一番上まで上げ、次に一番下まで下げてください。
6. オートフィードカッターユニットを本体に装着してください。
7. 「リセットキー」を2回押してください。電源が切れた前の状態に作動復帰します。
   ※それでも「Err」、「---」表示を解除しない場合は、修理依頼してください。

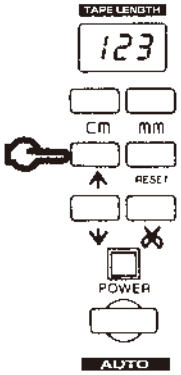
注意 必ず電源をOFFにしてください。カッターが作動して危険です。
刃に触れないでください。ケガをします。

テープが詰まったときの取り出しかた

1.リバースキー↑を、少しずつ押してテープを逆転させてください。

2.セットされているテープを送りローラーからはずしてください。

3.戻した部分をハサミなどでカットしてください。



■テープが戻らないときは

1.電源スイッチをOFFにしてください。

2.テープの途中を、ハサミなどで切ってください。

3.出口付近に詰まったテープを、ピンセットなどで、取り除いてください。

■オートフィードカッターユニットの中のカッターのすきまに、テープが詰まることがありますので、調べてください。

1.センサースイッチを「OFF」にしてください。

2.オートフィードカッターユニットをはずしてください。(図5)

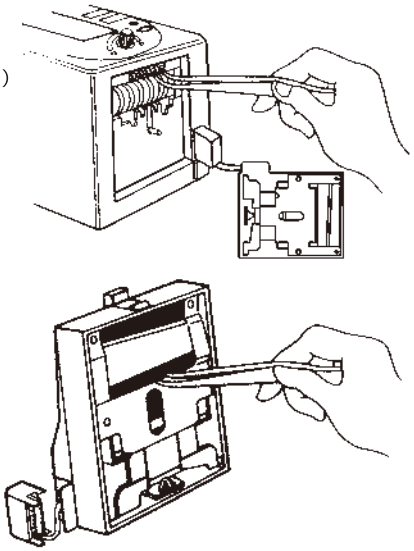
●はずしかた ☞17ページ

3.ウラ側の刃のすきまを確認してください。

4.テープを取り出すときは、直接手を触れずに、ピンセットなどを利用して、ケガをしないようご注意ください。

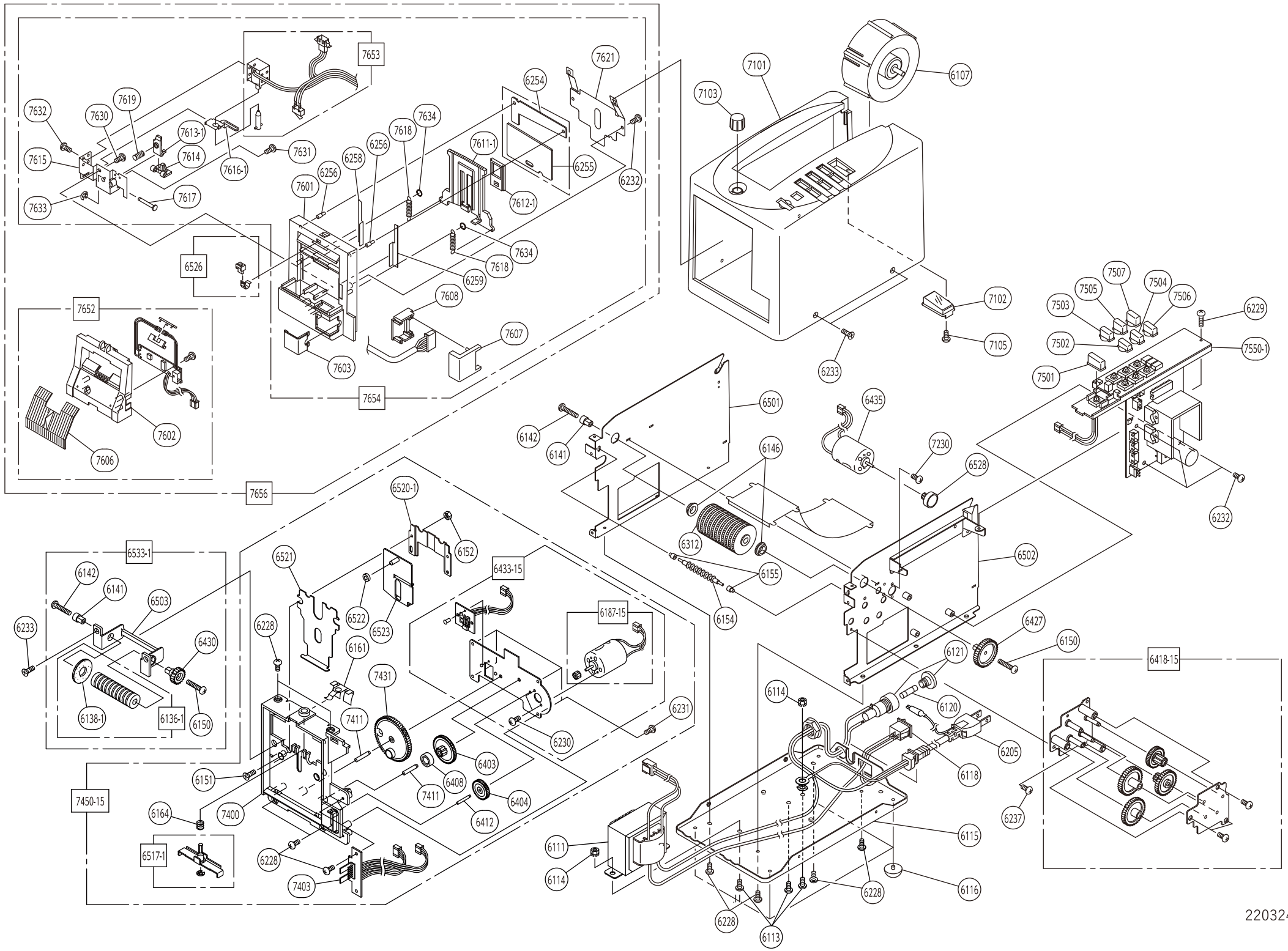
●オートフィードカッターユニットの戻し方 ☞17ページ

(図5)



※安全シャッターを下げて装着してください。
シャッターを上げたまま装着すると、
Err --- 表示になります。

注意 必ず電源をOFFにしてください。カッターが作動して危険です。
刃に触れないでください。ケガをします。


7653
7621
6254
7101
6107
7103
7632
7630
7619
7613-1
7614
7615
7616-1
7631
7634
7618
6256
6258
7611-1
6255
6232
7633
7617
7601
6256
7612-1
7634
7618
6259
6526
7608
7652
7607
7603
7654
7602
7606
7656
7102
7105
6233
7507
7505
7504
7506
7503
6229
7502
7550-1
7501
6501
6435
6142
6141
6146
7230
6528
6232
6520-1
6152
6312
6155
6154
6502
6533-1
6521
6433-15
6142
6141
6503
6522
6523
6187-15
6427
6150
6233
6228
6161
6121
6418-15
6430
7431
6114
6120
6138-1
6136-1
6150
7411
6231
6230
6205
6403
6151
6408
6118
7411
6404
7450-15
6164
7400
6412
6237
6115
6517-1
6111
6228
7403
6114
6228
6116
6228
6113

220324

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
7101	本体カバー			309g	
7102	フィルター			1.6g	
7103	プレッシャーつまみ			1.8g	
7105	タップタイトねじ		B3×6mm フィルター用	0.5g	
6107	トリプルリールユニット (TCE700-60031)			40g	
6111	トランス　100V			520g	
6113	小ねじナベ		4×8mm	1g	
6114	ワッシャ付きナット		4mm	3g	
6115	底板			260g	
6116	足ゴムユニット			2g	
6118	パワースイッチ			5g	

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
6120	ヒューズ			2g	
6121	ヒューズホルダー			6g	
6136-1	剥離ローラーユニット (新) (TCE700-60042)			60g	
6138-1	剥離ローラーリング (新) (TCE700-60041)			2g	
6141	ローラー軸			2g	
6142	タッピンナベ		3×20mm	1g	
6146	軸受け			1g	
6150	タッピンナベ		3×25mm	1g	
6151	小ねじナベ 3×8		3×8mm	1g	
6152	ナット		3mm	1g	
6154	押さえローラー			10g	

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
6155	押さえローラーカラー			1g	
6161	カッターホルダー スプリング			2g	
6164	ラベル押さえ スプリング			2g	
6187-15	カットモーター ユニット-15			51g	
6205	コード　（国内用）			68g	
6228	タップタイトナベ		3×8mm	1g	
6229	タッピンナベ		3×14mm	1g	
6230	小ねじナベ		2.6×3mm	1g	
6231	タッピンナベ		3×10Amm	1g	
6232	小ねじナベ		3×5mm	1g	
6233	タップタイト丸皿		3×8mm	1g	

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
6237	タップタイトナベ		3×5mm	1 g	
6254	カッター1 (TCE700-60030)			42 g	
6255	カッター2				
6256	カッター止めシャフト			2 g	
6258	カッターライナー右			1 g	
6259	カッターライナー左			1 g	
6289	シリコンオイル (TCE700-60023)			5 g	
6290	包装袋			6.5 g	
6296	定格ラベル（和文）			0.7 g	
6304	ON・OFFラベル	OFF ON		0.06 g	
6312	送りローラー			186 g	

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
7400	前面ホルダー			44.3 g	
7403	前面コネクター2			7.6 g	
6403	平歯車15			5 g	
6404	平歯車16			2 g	
6408	カラー2			6 g	
7411	平歯車軸21			1 g	
7412	平歯車軸22			1.5 g	
6418-15	送りギヤ ユニット-15 (TCE700-641815)			62 g	
6427	送りローラーギヤ			5 g	
6430	剥離ローラーギヤ			2 g	
7431	カッターギヤユニット2			12 g	

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
6433-15	カッター部ギヤカバー ユニット-15 (TCE700-643315)			80g	
6435	送りモーターユニット (TCE700-6435)			75g	
7450-15	前面ホルダー ユニット-15 (TCE700-645015)			169g	
6501	側板2左ユニット			155g	
7501	オートボタン			0.8g	
6502	側板3右ユニット			175g	
6503	剥離ローラーホルダー			5g	
7502	スイッチボタン1			0.5g	
7503	スイッチボタン2			0.5g	
7504	スイッチボタン3			0.6g	
7505	スイッチボタン4			0.6g	

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
7506	スイッチボタン5			0.7g	
7507	スイッチボタン6			0.7g	
6517-1	ローラー押さえユニット			15g	
6520-1	カットレバー押さえ			10g	
6521	カットレバーライナー2			20g	
6522	カットレバーシャフト カラー			2g	
6523	カットレバー2ユニット			23g	
6526	オープンセット			8g	
6528	ピニオンギヤ2ユニット			10g	
6533-1	剥離ローラーホルダー ユニット (TCE700-60043)			66g	
6535	アタッチメント				

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
7550-1	制御盤ユニット2			137g	
7601	カッターホルダー			44.8g	
7602	センサーカバー			14g	
7603	コネクターリッド			2g	
7606	密着防止カバー			4.7g	
7607	コネクター3			3.1g	
7608	コネクター4			2.4g	
7611-1	シャッター2			9.1g	
7612-1	スライダー2			1.8g	
7613-1	ストッパー2			0.6g	
7614	リムーバー			0.7g	

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
7615	ブラケット			11.1 g	
7616-1	ムーバー2			2.5 g	
7617	ストッパーシャフト			3 g	
7618	シャッタースプリング			0.7 g	
7619	リターンスプリング			0.2 g	
7621	カッタースプリング			12.5 g	
7630	タップタイトねじ		B3×8mm ブラケット用	1 g	
7631	タップタイトねじ		B2×10mm マイクロスイッチ用	1 g	
7632	十字穴付きねじ		M2.6×3mm ソレノイド用	1 g	
7633	Eリング		ストッパー シャフト用	0.1 g	
7634	Oリング　抜け止め			0.1 g	

部品番号 Parts No.	部品名(注文番号) Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight	
7652	センサーユニット (TCE700-60052)			21 g	
7653	ソレノイドユニット (TCE700-7653)			22.2 g	
7654	カッターホルダー ユニット (TCE700-7654)			153 g	
7656	オートフィードカッター ユニット			184.7 g	
6534-1	テープ押さえガイド (TCE700-60040)				
	リールスタンド24 (TCE700-RST24)				
	リールスタンド35 (TCE700-RST35)		パワーリールが必要です		
	φ32リール (TCE700-60036)				
	パワーリール (TCE80012)		リールスタンド35 が 必要です		
7906	取扱説明書(和文)				

別売部品・消耗品

■下記の別売部品・消耗品は、お買上げの販売店にご注文ください。

別売部品名・消耗品名	このような時におすすめします
カッター（替刃）	切れにくくなる前に定期交換をおすすめします。
はくりローラーユニット	はくりローラーは消耗品です。定期交換をおすすめします。
オートフィードカッターユニット	センサーが故障することがあります。
1インチリール	軸径の小さな、小巻テープをご使用のとき。
テープ押さえガイド（マグネット付き）	テープ幅の細いテープをご使用のとき、センサーからはずれやすいテープのとき、テープ走行の補正に効果的です。
アタッチメント（マグネット付き）	テープの長さが設定より長くなるとき（両面テープ、保護フィルムテープなど）、テープ長さの補正に効果的です。
リールスタンド24（TCE-700用）	テープ外径240mmでの、大巻きテープ用外付けリールスタンド。
リールスタンド35（TCE-700用）	テープ外径350mmでの、大巻きテープ用外付けリールスタンド。
パワーリール	リールスタンド35をご使用になる場合必要です。
ヒューズ	ヒューズが切れたときは、必ず原因をお確かめのうえお取り替えください。 部品番号 6120：ガラス管ミゼットヒューズφ5.2　1A
シリコンオイル	刃にテープの粘着剤がつくとき、粘着剤をよく取り除いてから、刃にシリコンオイルを塗布してください。

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注意 部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

カッター刃の交換

※詳しくは、部品に添付の説明書をお読みください。

1. オートフィードカッターユニットをはずしてください。
   オートフィードカッターユニットの交換方法 ☞17ページ

2. ネジ2本をはずし、カッタースプリング（押さえ板）を取り除いてください。（図1）

3. カッターをはずしてください。

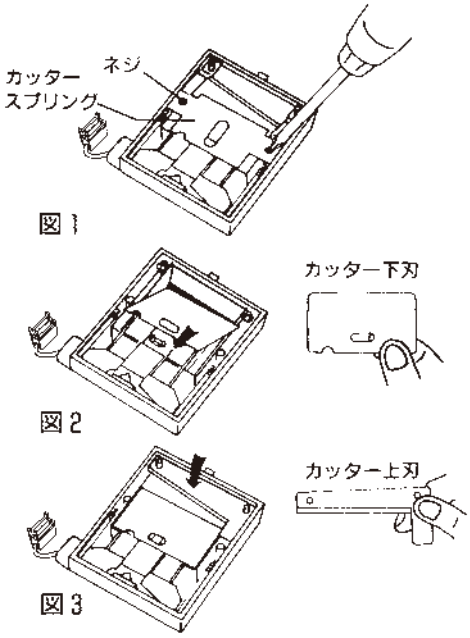
4. カッター下刃をセットします。フッ素コーティング面（ツヤのない黒い面）を上にしてください。半円型の欠けこみが左下になります。（図2）

5. カッター上刃をセットします。塗装面（ツヤのあるほう）を上にしてください。（図3）

6. カッタースプリング（押さえ板）を戻してください。

7. ネジ2本でとめてください。

※ カッターの向き／表裏を反対にセットするとテープは切れません。



別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注意 部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

テープ押さえガイドの使用

※ テープ幅の細いテープをご使用のとき、センサーからはずれやすいテープのとき、テープ走行の補正に効果的です。

1. 送りローラーと、リールの間の平らな面に貼り付けます。（図1）

2. テープに合わせて、テープが中央を通るように両サイドの金具をスライドさせ位置を決めてください。

3. テープ押さえガイドにテープを通してご使用ください。

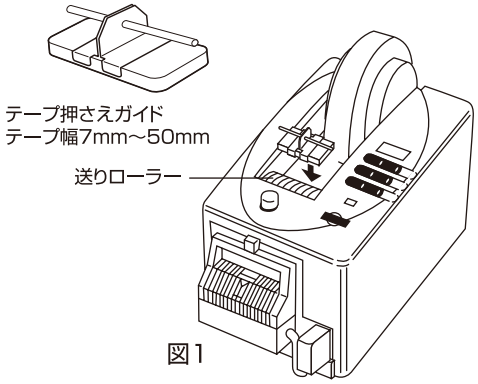


図1

アタッチメントの使用

※ テープの長さが設定より長くなるとき、（両面テープ、保護フィルムテープなど）テープの長さの補正に効果的です。

1. アタッチメントにテープを通してから、送りローラーにテープを付着させてください。（図2）

2. アタッチメントを送りローラーと、リールの間の平らな面に貼り付けます。
テープが送りローラーに密着するようマグネットを貼り付けてください。
（図3）

■ テープ巻からはがしにくい（強粘着）テープ／テープ幅の細いテープにはご使用出来ません。

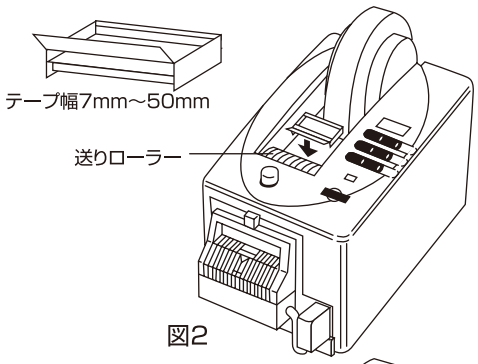


図2

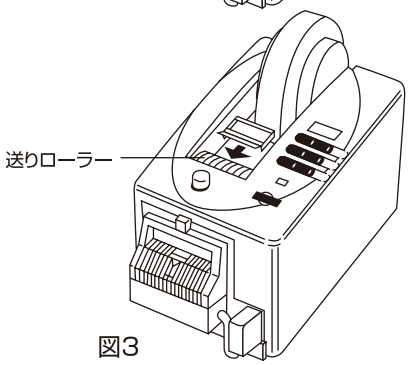


図3

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注意
部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

はくりローラーユニットの交換

1. センサースイッチを「OFF」にしてください。
2. オートフィードカッターユニットをはずしてください。
   はずしかた ☞17ページ
3. 図1の、矢印のネジ①・②を、(+)ドライバーではずします。
4. はくりローラーのゴムリングの中央部を指でつまんで、手前に引くと、はくりローラーホルダーユニットがはずれます。 (図1)
5. ローラーユニットの左右のネジをはずして、ギヤとカラーをローラー軸から抜きとります。 (図2)
6. 新しいローラーユニットをホルダーに合わせ、ギヤとカラーをローラー軸の形状にあわせて差し込み、それぞれネジで止めてください。
   ギヤ :右側／長いほうのネジ
   カラー:左側／短いほうのネジ
   ギヤとカラーの左右を確認してください。
   逆にセットするとローラーが逆転します。
7. はくりローラーホルダーユニットを、本体にセットし、ネジ2本で止めてください。

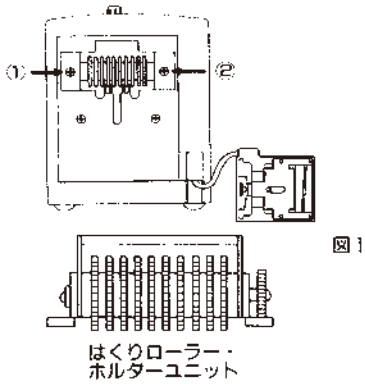


図1

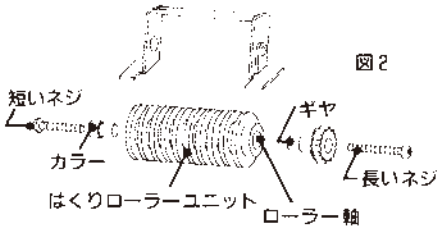
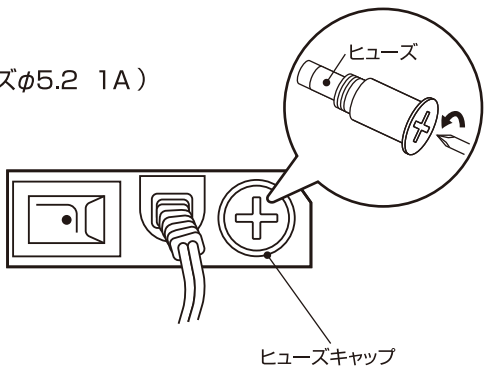


図2

ヒューズの交換

1. 本体後ろ側のヒューズホルダーのキャップを、(+)ドライバーで左に回してはずします。
2. 新しいヒューズに差し替えます。
   (部品番号6120: ガラス管ミゼットヒューズφ5.2 1A)
3. キャップを (+) ドライバーで右に回してセットしてください。



⚠ 注意
- ●ヒューズが切れた場合は、原因をご確認のうえ、再発を防止してください。
- ●指定以外のヒューズは、使わないでください。
- ●原因不明の場合は、点検をご依頼ください。

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注意 部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

TCE-700、シーケンスタイプ用 リールスタンド24の使用

1.本体のリールを、後方へ引き抜き、はずします。（図1）

2.リールスタンド24の付属ネジを使用して本体底板と
　リールスタンド24を固定します。（図2）（図3）

3.テープをリールにはめこみ、リールスタンドのリール受けにセットします。（図4）

4.テープを、通常通りに送りローラーにセットして送り出してください。

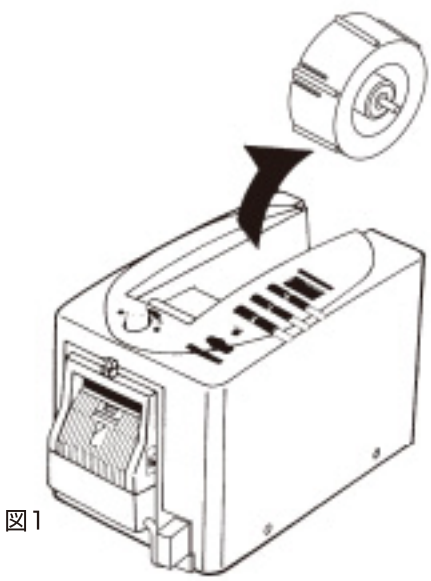


図1

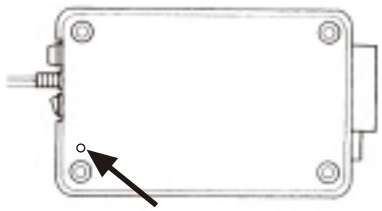


図2　本体底板の穴

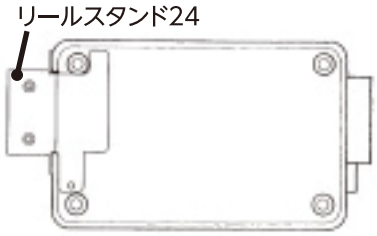


図3　リールスタンド24と本体底板の
穴位置を合わせてネジで固定します。

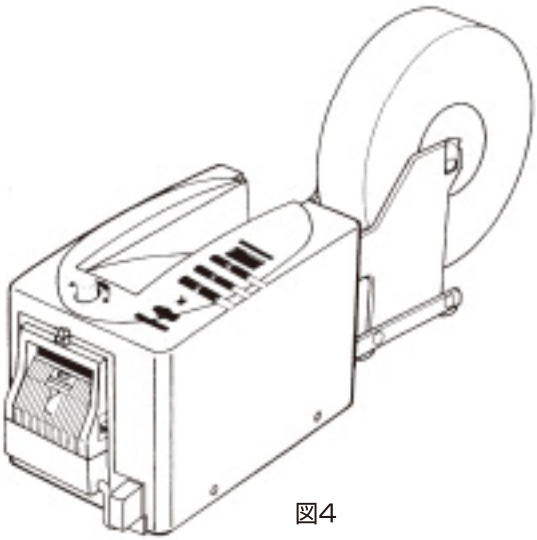


図4

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注意 部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

TCE-700、シーケンスタイプ用 リールスタンド35の使用

1. 本体のリールを、後方へ引き抜き、はずします。(図1)
2. テープをパワーリール(別売部品)にはめこみ、リールスタンド35のリール受けにセットします。(図2)
3. リールスタンド35を本体の後方に置き、テープを通常通りに送りローラーにセットして送り出してください。(図3)

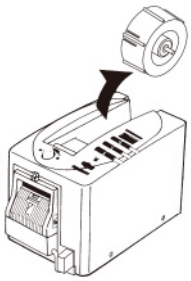


図1

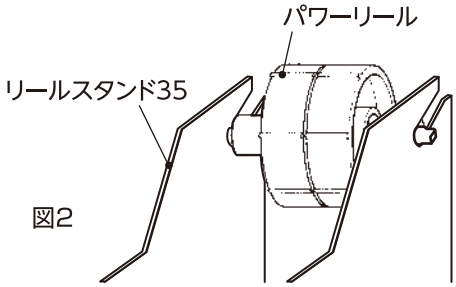


図2

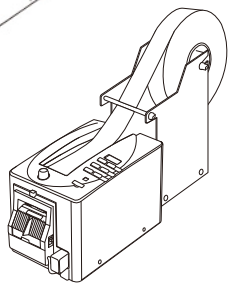


図3

パワーリールの使いかた

■テープの種類により、テープ走行時につぎのような現象が生じることがあります。その場合は、リールのつまみを調整して補正することができます。

・テープが横にズレてきて、長さがバラついたり、テープが詰まる。
・テープ巻からから出ている部分がたるんできて、長さがバラついたり、からみ付く。

■図4のパワーリールつまみを強弱いずれかの方向に回して、調整してください。テープの種類・状態により条件が異なりますので、目安はありません。

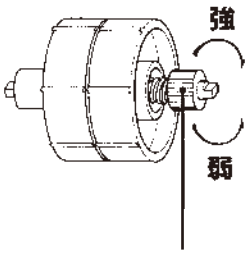


図4 パワーリールつまみ

仕　様

表示	3桁　LED　デジタル表示
使用可能テープ幅	7mm～50mm
使用方法	粘着面が下側になるよう本体にセットしてご使用ください
テープ長さ設定範囲	30mm～999mm
適用リール	φ76.3、φ35、φ25.4
適用テープ外径	φ170mm以下
適用テープ種類	セロテープ®、クラフト粘着テープ、布粘着テープ、 片面はくり紙付き両面テープ（厚さ0.5mm以下）、 フィラメントテープ、クレープテープ
駆動	テープ送り・テープカット；DCモーター
消費電力	18W
電源	AC100V　50/60Hz
使用可能照度	蛍光灯　3,000ルクス以下（40W灯下30cm位） 白熱灯　　800ルクス以下（60W灯下45cm位） 太陽光 10,000ルクス以下
使用温度･湿度	温度5℃～40℃　湿度80%RH以下
外形寸法･重量	W137×D249×156mm　2.5kg
材質	本体カバー：ABS樹脂 側板・底板：冷間圧延鋼板 カッター：片面フッ素コーティング

一般的なテープでも本製品で使用できない場合が多数ございます。
ご使用のテープがお使いになれない場合は、販売店または当社営業・
お客様相談室へご相談ください。

お手入れの方法

注意
お手入れのときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

■オートフィードカッターユニット：テープの粘着剤が取れない時は、除光液やアルコールを布などにふくませて、拭いてください。カッター刃にテープが付着しやすい時は、刃の部分にシリコンオイルを塗布してください。

■本体カバー　ABS樹脂製品です。乾いた布で拭いてください。
キーの部分やオートフィードカッターユニットに水分がかからないようご注意ください。
工業機械油・シンナー・ベンジンで拭きますと、破損、変質するおそれがあるので、使用しないでください。

保守・点検・サービス

■安心してご使用いただくために、定期的な点検をおすすめいたします。
■カッター刃・はくりローラーユニット・シリコンオイルなどの消耗品は、予備品を常備しておくことをおすすめいたします。
■故障の際は、巻末の保証規定により、アフターサービスを承ります。
■原因不明の走行不良などの場合は、本体と一緒にご使用のテープ見本を1巻お送りください。より早く正確な究明に役立ちます。

本製品は、一般的なテープに対応できるよう設計されておりますが、全てのテープに対応できるものではありません。
特殊なテープの場合は、販売店または当社支店、お客様相談室へご相談ください。

ニチバン株式会社

オフィス名	TEL	所在地
機器部品センター	(03)6311-7468	〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-26　KDX飯田橋ビル
札幌オフィス	(011)231-2310	〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西2丁目2番地1　NX札幌ビル6F
仙台オフィス	(022)390-0220	〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町8-1　斎喜センタービル8F
東京オフィス	(03)5229-7523	〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-26　KDX飯田橋ビル
名古屋オフィス	(052)229-1770	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-16-4　BPRプレイス名古屋丸の内
大阪オフィス	(06)4803-2331	〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-9-6　肥後橋ユニオンビル4F
広島オフィス	(082)249-1703	〒733-0051 広島市中区大手町2丁目11番2号　グランドビル大手町9F
福岡オフィス	(092)521-1170	〒810-0011 福岡市中央区高砂1-24-20　ちくぎん福岡ビル8F
お客様相談室	0120-377-218	（フリーダイヤル）

長年ご使用の *オートテーパー*™ の定期点検を！

このような症状はありませんか		お願い	
	●スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。 ●電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。 ●運転中、異常な音がする。 ●本体が変型したり、異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	▶	このような場合は事故防止のため本体スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理（有料）をご相談ください。

Ⓡは登録商標、TMは商標です。